

# 歴史まちづくりの取り組み状況について(令和元年度)

(●前回協議会以降の取り組み)

## 資料 1

国(国土交通省・文化庁)	県	協議会・審議会等	市議会	具体化方策	関係者協議	取り組み状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成31年4月10日 現地視察 東北地方整備局建政部長</li> <li>○令和元年5月31日 平成30年度実績進捗評価シート提出(三省庁)</li> <li>○令和元年7月5日 文化財建造物保存技術協会 現地指導(八幡神社)</li> <li>●令和2年1月20日～21日 東北・歴史まちづくり推進会議 (盛岡市)</li> <li>●令和2年1月22日 歴史まちづくりの軽微な変更届出 (三省庁)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成31年4月5日 平成31年度事業計画相談 (街なみ環境整備事業)</li> <li>○令和元年10月3日 平成30年度繰越完了報告 (街なみ環境整備事業)</li> <li>●令和元年11月27日 令和2年度事業計画本要望 (街なみ環境整備事業)</li> <li>●令和元年12月25日 令和2年度事業計画要望 (地域文化財総合活用推進事業)</li> <li>●令和2年3月末予定 事業完了実績報告 (街なみ環境整備事業/ 地域文化財総合活用推進事業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成31年4月1日 協議会委員委嘱</li> <li>○平成31年4月17日 建造物部会開催</li> <li>○令和元年8月7日 建造物部会開催</li> <li>○令和元年10月14日 歴史まちづくりシンポジウム</li> <li>○令和元年11月6日 歴史的風致維持向上協議会</li> <li>●令和元年12月4日 建造物部会開催</li> <li>●令和2年3月中旬 歴史的風致維持向上協議会 都市計画審議会 取り組み状況(書面報告)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和元年6月17日 令和元年度事業計画説明 (建設水道常任委員会)</li> <li>○令和元年9月4日 歴史まちづくり事業取り組み報告 (建設水道常任委員会)</li> <li>●令和元年12月4日 歴史まちづくり事業取り組み報告 (建設水道常任委員会)</li> <li>●令和2年3月5日 令和2年度事業計画説明 (建設水道常任委員会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和元年7月31日 城門跡・料亭標柱設置完了</li> <li>○令和元年9月27日 桜橋館耐震診断業務完了</li> <li>○令和元年9月30日 幸町桜並木修景工事完了</li> <li>○令和元年10月26～27日 比内地域歴史的建造物調査</li> <li>●令和元年11月28日 幸町桜並木土壌改良完了</li> <li>●令和元年11月30日 大館「祭語り」講演会</li> <li>●令和元年12月10日 三ノ丸美装化路線測量完了</li> <li>●令和元年12月13日 神明社玉垣改修工事完了</li> <li>●令和元年12月20日 城下町名(上町地区)標柱設置完了</li> <li>●令和2年2月23日 歴史的建造物シンポジウム</li> <li>●令和2年2月28日 耐震改修工事実施設計完了</li> <li>●令和2年3月2日 八幡神社覆屋建替工事完了 八幡神社拝殿幣殿改修工事完了</li> <li>●令和2年3月末予定 神明社境内整備工事完了 三ノ丸地区駐車場舗装工事完了 地域文化財総合活用推進事業完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和元年5月8日 幸町桜並木工事説明会</li> <li>○令和元年6月5日 事業計画打合せ(まちづくり実行委員会)</li> <li>○令和元年6月20日 八幡神社仮殿遷座祭</li> <li>○令和元年6月24日 感謝状贈呈式(成田欽治氏)</li> <li>○令和元年6月27日、10月23日 どこでも博物館総会・全体会議</li> <li>○令和元年9月10日 八幡神社覆屋工事地鎮祭</li> <li>○令和元年9月17日、10月3日 三ノ丸地区町内会意見交換</li> <li>○令和元年10月17日、29日 AKITASUGIツアーズミーティング</li> <li>○令和元年10月21日、29日 大館街歩きデジタルマップ準備委員会</li> <li>○令和元年10月23日 幸町美装化計画説明会</li> <li>●令和元年11月21日～22日 上町・古川町地区会長打合せ (上町地区ほか標柱設置)</li> <li>●令和2年12月13日 AKITASUGIツアーズ意見交換</li> <li>●令和2年1月17日、2月20日 大館街歩きデジタルマップ準備委員会</li> <li>●令和2年1月30日 事業計画打合せ(まちづくり実行委員会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和元年5月1日 増田まんが美術館オープンイベント</li> <li>○令和元年5月3日 平泉町春の藤原まつり出席</li> <li>○令和元年5月22日 下川浴中1年生(桜橋館視察)</li> <li>○令和元年5月23日 東中2年生(歴史まちづくり職場体験)</li> <li>○令和元年5月25日 矢立峠の歴史巡り(歴史まち散歩)</li> <li>○令和元年6月8日 北地区の道祖神巡り(歴史まち散歩)</li> <li>○令和元年6月20日、10月25日 城南小(桜橋館視察)</li> <li>○令和元年6月30日 桜橋館親子障子張り体験</li> <li>○令和元年8月11日 鳳凰山周辺巡り(歴史まち散歩)</li> <li>○令和元年9月28日 比内地域巨大巡り(歴史まち散歩)</li> <li>○令和元年10月16日 鳳鳴高校1年生(出前講座)</li> <li>○令和元年11月2日 桜橋館清掃ボランティア体験</li> <li>●令和元年11月13日 温故知新の会(出前講座)</li> <li>●令和元年11月24日 桜橋館ヨガ体験</li> <li>●令和元年11月30日 桜橋館障子張り体験</li> <li>●令和元年12月21日 中央市交流講演会in東京</li> <li>●令和2年2月9日 相模女子大交流イベント(御成座)</li> <li>●令和2年2月26日 市民歴史講座(取組発表)</li> </ul>
<p>具体化方策</p>  <p>11月28日 (桜並木土壌改良)</p>	 <p>11月30日 (大館「祭語り」講演会)</p>	 <p>2月23日 (歴史的建造物シンポジウム)</p>	 <p>2月20日(大館街歩き デジタルマップ準備委員会)</p>	 <p>2月26日(市民歴史講座 ／歴史まち取組発表)</p>		
<p>具体化方策に向けた関係者との協議</p>  <p>11月22日(標柱設置打合せ ／古川町町内会)</p>	 <p>12月13日(地域内ミーティング ／AKITASUGIツアーズ)</p>	 <p>2月20日(大館街歩き デジタルマップ準備委員会)</p>	 <p>12月21日(大館市・中央市 交流講演会in東京)</p>	 <p>2月9日(相模女子大イベント ／御成座)</p>		
<p>歴史まちづくりに関連した取り組み状況</p>  <p>11月24日 (桜橋館ヨガ体験)</p>	 <p>11月30日 (桜橋館障子張り体験)</p>	 <p>12月21日(大館市・中央市 交流講演会in東京)</p>	 <p>12月21日(大館市・中央市 交流講演会in東京)</p>	 <p>2月9日(相模女子大イベント ／御成座)</p>		

# 具体化方策の整備実績及び計画について

## 資料2

事業期間	対象事業	対象施設	事業内容	補助事業者 /直接・間接	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	資料	
1	H29～R3	歴史的風致形成 建造物整備	桜橋館	・用地、建物購入 ・耐震改修工事 ・庭園樹木剪定 ・外構工事	市/ 直接	・敷地面積確定測量 ・建物補償調査	・用地、建物購入 ・耐震診断予備調査	・耐震診断 ・耐震改修実施設計	・耐震改修工事 ・耐震改修工事監理 ・耐震改修設計監理 ・庭園樹木剪定(単独) ・備品搬出搬入(単独)	資料3
2	H29～R5	国土交通大臣が必要 と認める事業 (公共施設修景整備)	・幸町地区 ・三ノ丸地区 ・八幡地区 ・寺町地区 ・神明地区	(道路美装化) ・電柱統合修景 ・側溝布設替 ・路面舗装美装化	市/ 直接	(幸町地区) ・現況測量 ・道路修景実施設計 ・桜並木生育診断等	(幸町地区) ・植樹帯再構築 ・路側側溝布設替	(幸町地区) ・電柱統合修景 ・路面舗装美装化 (三ノ丸地区) ・現況測量	(三ノ丸地区) ・電柱統合修景 ・路側側溝布設替 (八幡地区) ・現況測量	資料4
3	H30～R3	国土交通大臣が必要 と認める事業 (公共施設修景整備)	城下町名標柱 整備	多言語翻訳 QRコード付き標柱設置	市/ 直接		(中城地区) ・大館城門跡(7基) (幸町地区) ・料亭(4基)	(上町地区) ・城下町名地名(11基) (幸町地区) ・料亭(1基)	(三ノ丸地区) ・城下町名地名(12基)	資料5
4	R1	効果促進事業 (地区施設整備)	三ノ丸地区 駐車場	三ノ丸地区駐車場 舗装工事	市/ 直接			(三ノ丸地区) ・駐車場舗装工事		
5	R2～R3	効果促進事業 (公共施設修景)	桂城公園	・修景設計策定実施設計 ・公共施設修景工事	市/ 直接				・桂城公園修景設計 策定業務	資料6
6	H29～R1	歴史的風致形成 建造物整備(間接)	大館八幡神社 (拝殿・幣殿)	・基本設計 ・拝殿、幣殿改修実施設計 ・拝殿、幣殿改修工事 ・工事監理業務 ・消防用設備工事	大館八幡神社/ (間接)	・神社全体基本設計	・拝殿、幣殿改修 実施設計	・拝殿、幣殿改修工事 ・消防用設備工事 ・工事監理業務		資料7
	H30～R1	(文化庁補助事業) 防災・耐震対策重点 強化(防災施設等) 事業	大館八幡神社 (覆屋)	・覆屋建替実施設計 ・覆屋建替工事 ・工事監理業務	大館八幡神社/ (間接)		・覆屋建替実施設計	・覆屋建替工事 ・工事監理業務		
7	H29～R3	歴史的風致形成 建造物整備(間接)	大館神社	・境内全体測量 ・境内整備実施設計 ・曳山車通路整備 ・駐車場整備 ・参道美装化	大館神社/ (間接)	・境内全体測量 ・本殿基礎実施設計	・本殿盛土基礎改修 工事 ・境内整備実施設計	・本段玉垣改修工事 ・曳山車通路整備 ・駐車場整備 ・支障木伐採、石碑移設 ・支障電柱移設	・曳山車通路、駐車場 舗装工事 ・参道美装化工事	資料8
一財	R1～R4	文化庁補助事業に伴う活 動を支援し、歴史まちづく り事業の推進を図る	歴史的建造物 趣のある街並み	・歴史的建造物調査報告 ・趣のある建造物調査 ・神社等の補修計画提案 ・研究発表会の開催	大館歴史的建造物 研究会			・料亭末廣調査 ・比内地域歴史的 建造物調査 ・高山豊山稻荷神社 補修計画提案	・桜橋館耐震改修 工事報告書 ・十二所地域歴史的 建造物調査 ・老犬神社ほか調査	資料9
※交付金は、補助対象事業費の1/2 ※合併特例債は、3.城下町名標柱と6.7.間接経費を除く ※6.7.間接経費は、補助対象経費の1/2を補助 ※令和2年度の事業計画は、交付金配分により変更あり				事業費	12,356	89,180	84,425	152,260	単位 (千円)	
				補助対象事業費	11,400	88,000	79,760	146,360		
				社会資本整備総合交付金	5,700	44,000	39,880	73,180		
				合併特例事業債(充当率95%)	0	35,900	23,300	57,800		
				一般財源	6,656	9,280	21,245	21,280		

## ○歴史的風致形成建造物整備（国登録有形文化財桜櫓館）

耐震診断の結果、桜櫓館の耐震性能は低く、地震時や大型台風などの暴風時に建物が倒壊する危険があると判定されたことから、来館者の人命の安全確保と歴史的建造物を地震等から守ると共に、できる限り建設当時の姿を再現する外観復原工事も行い、数少ない文化財に今できる最善の技術を施し、誇りを持って後世に残すためにこの事業を実施します。

また、床・壁・天井を撤去、補強、復旧しながら行う耐震改修工事に併せて、老朽化や維持管理をする上で支障をきたしている設備の更新や火災を早期に発見するために自動火災報知設備を新設します。

### 1. 整備スケジュール

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施項目	用地測量 補償調査	用地建物購入 実地調査	耐震診断 実施設計	改修工事	外構工事

### 2. 耐震補強計画の協議（歴史的風致維持向上協議会／建造物部会）

- (1) 平成31年 4月17日 建造物部会に耐震診断の方針を協議
- (2) 令和元年 8月 7日 建造物部会に耐震診断結果の報告及び補強内容を協議
- (3) 令和元年11月16日 協議会に耐震診断結果の報告及び補強改修内容を協議
- (4) 令和元年12月 4日 建造物部会に改修内容（外観復原方針）を協議

### 3. 耐震補強方法

文化財的価値を損なわないよう、できるだけ見えない位置で補強することを大前提とします。また、建設当時の元の材料は可能な限り使用した上で、現代の技術を駆使した補強材料を組合せます。また、今後の維持管理を見据え、特殊な材料や工法は選定せず、地元の建設会社や職人が修繕できる補強内容とします。

#### (1) 基本の壁補強

既存の土壁を撤去し、構造用合板を用い耐震壁を造ります。



構造用合板

#### (工程)

- ①床・天井を一度解体し、柱・梁を表します
- ②既存の壁仕上材や土壁を撤去し、構造用合板を設置します
- ③漆喰などの仕上材を施します

(参考写真) 床、壁、天井材を撤去し、構造部材を露わとします

#### (2) 屋根・床の補強

屋根は既存の野地板と垂木、2階床は床板と根太の固定方法を確認の上、留め金物が想定と異なる場合は、金物を交換又は増し打ちを行います。



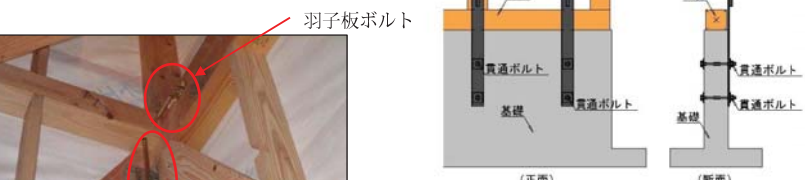
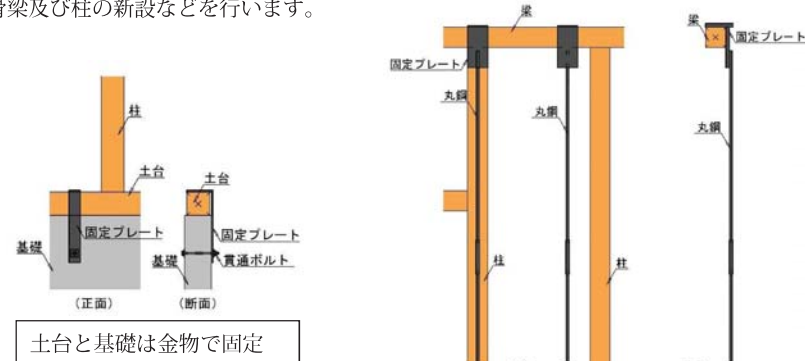
#### (工程)

- ①カラー鉄板屋根材、防水紙などを解体します
- ②野地板と垂木の固定方法を確認します
- ③留め金物（釘）の長さ及び本数が不足している場合は、交換及び増し打ちをします
- ④ガルバリウム鋼板屋根材で葺きます

(参考写真) 小屋裏から見た垂木と野地板

#### (3) その他の補強

土台と基礎及び柱と横架材（土台・梁）などの金物補強や、既存梁の補強のための鉄骨梁及び柱の新設などを行います。



(参考写真) 柱と梁はホールダウン金物  
梁と梁は羽子板ボルトで固定

梁と柱、梁と梁は金物で固定

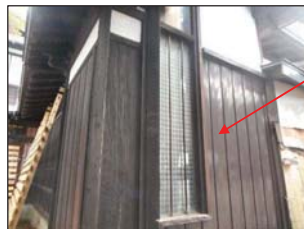
ホールダウン金物

#### 4. 往時の姿の再現に係る外観復原

桜櫓館は昭和 8 年に櫻場文蔵氏が建設し、その後幾たびの変遷を経て現在に至ります。その時々で建物保全のために修繕を行っていますが、当時は文化財ではないため修繕方法が意匠的価値を損ねています。このことから、外観復原により建物の価値を高めます。  
(資料 3-3 参照)

##### (1) 外壁の復原

外壁の一部が鉄板サイディング張りとなっているため、下見板張りに張替え、アルミサッシは木製建具に更新します。



(写真) 西側鉄板サイディング張りの外壁



(写真) 北側鉄板サイディング張りの外壁

張替え

アルミから  
木製建具に  
更新

##### (2) 屋根の復原

建設当時は長尺物の亜鉛鉄板がまだ普及しておらず、小幅板で葺く平葺きが一般的であったことから、耐震補強で屋根を復旧する際は平葺きとします。



(写真) 桜櫓館の現状 (長尺横葺き、瓦棒葺き)



(参考写真) 平葺き (一文字葺き) 屋根の住宅

#### 5. 耐震補強工事に併せて実施する修理など

平成 30 年度に実施した実地調査で指摘された各部材の補修、木製建具の組子修理や襖・障子の張り替え、外観木部保護塗装などを行います。  
また、建物周囲に造られた簡易な物置は撤去し、現在は浴室、便所となっているが使用されていない部屋は物置に改修します。



(写真) 軒天に穴あり



(写真) 簡易物置は撤去



(写真) 組子の補修や建具調整



(写真) 既存浴槽等は撤去し、外部物置に改修

#### 6. 耐震補強工事に併せて実施する設備改修

電気設備や機械設備 (給排水、暖房など) は所有者が変わる度に使用方法が異なり、現在までに幾度も修繕を重ねていると思われます。しかし、改修履歴が継承されず埋設配管や室内ルート及び使用材料が不明であり、今後の建物保全計画に支障をきたすことから、分電盤や灯具などの老朽化に伴う更新や給水管の凍結防止対策も含めて全面的に更新を行います。また、既存の電気温水器は廃止した上で、管理人室などのバックヤードは LED 灯具に置換し、施設の節電も行います。

##### (1) 屋外電気設備の更新

施工時期とルートが不明な敷地内埋設管や配線、引込開閉器盤の更新と樹木でケーブルを受けている電話架空配線を埋設配管に改修します。



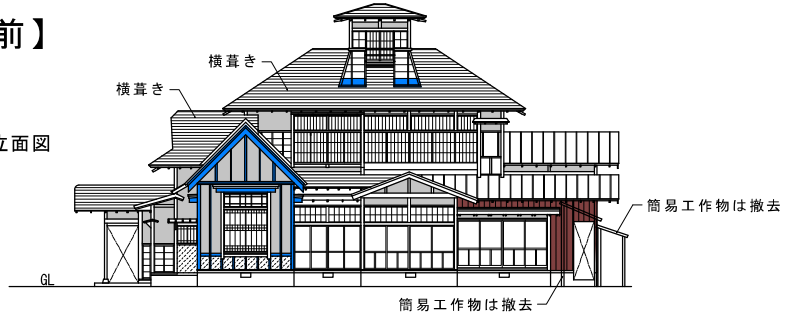
(写真) 引込開閉器盤



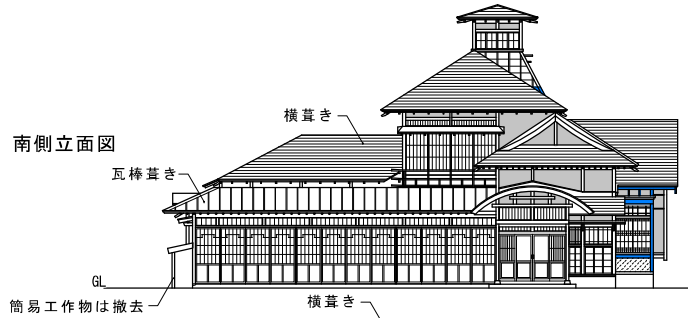
(写真) 樹木で受けている架空電話線

【改修前】

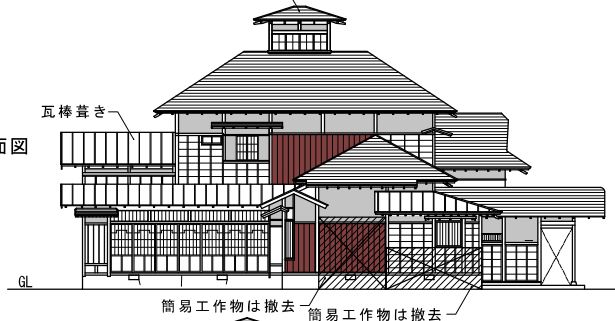
東側立面図



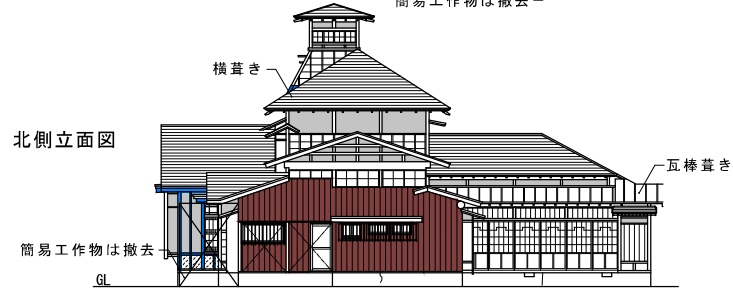
南側立面図



西側立面図

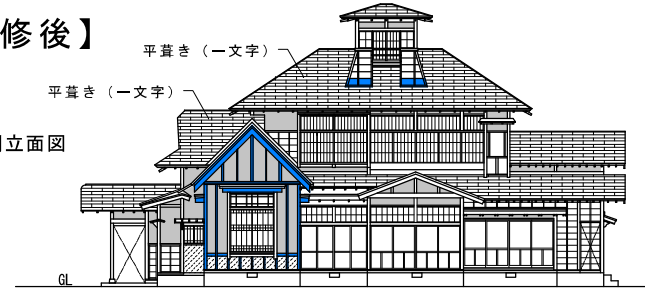


北側立面図

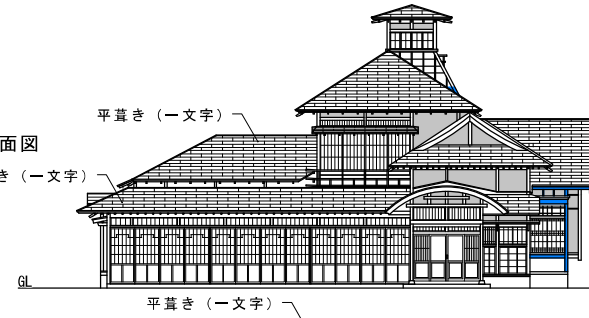


【改修後】

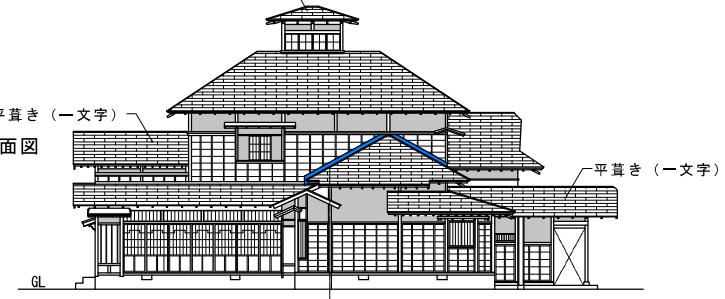
東側立面図



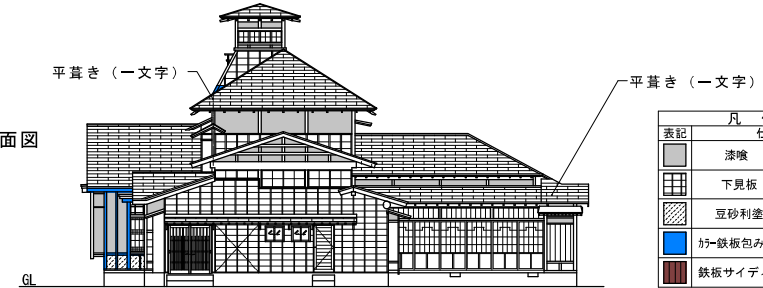
南側立面図



西側立面図



北側立面図



資料3-3

表記	凡例	仕様
	漆喰	
	下見板	
	豆砂利塗装	
	加鉄板包み(屋根除く)	
	鉄板サイディング	

令和元年度



大館市

工事名称

大館市桜樹館耐震改修工事

図面名称

立面図(変更前・変更後)

縮尺

1:200

図面

作成月日

令和2年2月

番号

(2) 屋内電灯設備の改修

電灯・コンセントや配線、耐用年数を経過している分電盤やバックヤード等の灯具を更新し、見学公開部分の電灯スイッチは管理人室で一括管理します。



(写真) 耐用年数を経過している分電盤



(写真) 配線が露出している



(写真) バックヤードの照明器具



(写真) 再利用する洋室照明器具

(3) 機械設備（給排水・給湯設備）の改修

冬季に凍結している給水管については、凍結防止ヒーター及び保温を施します。また、給湯設備については、電気温水器を廃止し、ガス瞬間湯沸し器に改修します。



(写真) 冬季は給水管が凍結している



(写真) 電気温水器は撤去

7. 庭園整備計画（樹木剪定）

(1) 美観上の目的

- ① 不必要な枝葉を除去し、樹形のバランスを整えます。
- ② 枯枝、枯葉を除去し、美観を回復させます。

(2) 生理上の目的

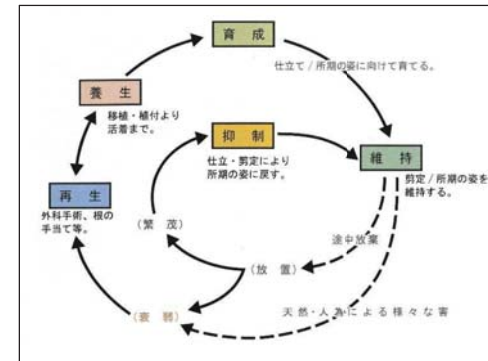
- ① 枝葉の採光や通風を良くし、病害虫に対する抵抗力を高めます。
- ② 老化した枝を切りつめ、新しい枝を再生させて若返らせます。

(3) 事実上の目的

- ① 強風・雪害による枝折れや倒木を防ぎます。
- ② 修景などの目的に応じて形態を維持します。



道路から建物の外観が見えない



樹木管理の基本概念



剪定完了イメージ図

8. 耐震改修スケジュール

	令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
改修工事 (建築、電気、機械)		執行同	工期:5月中旬～12月末									完成検査		
設計監理業務		執行同	履行期間:5月中旬～12月末											
工事監理業務		執行同	履行期間:5月中旬～12月末											
桜櫓館運営		見学・貸館	休館:5月7日～1月中旬								見学・貸館			
			備品搬出								備品搬入			

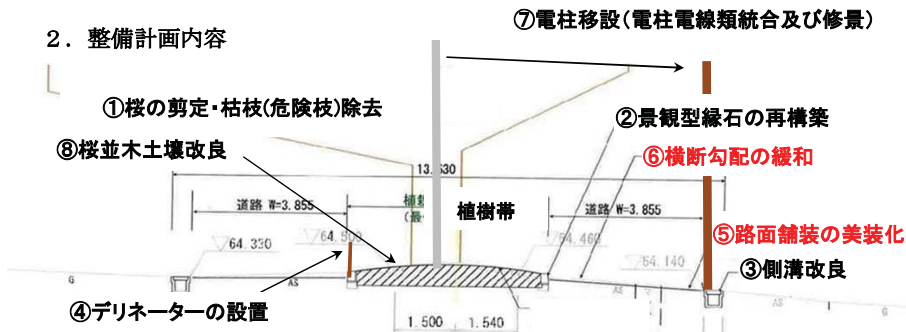
○道路美装化計画について

【幸町地区（市道幸町1号線桜並木通り）】

1. 整備スケジュール

平成29年度	桜並木生育診断・土壌調査 道路現況測量		
平成30年度（繰越）	桜並木剪定・支障枝切り落とし 側溝布設替え・植樹帯再構築		
令和元年度	電柱電線類統合移設・修景整備 桜並木土壌改良		(完了)
令和元年度（繰越）	路面舗装美装化（8月末完成予定）		(予定)

2. 整備計画内容



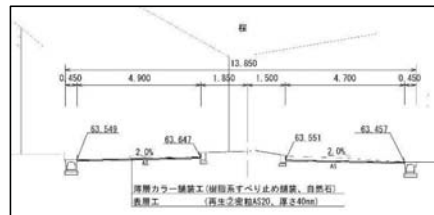
3. 路面舗装の美装化（令和2年8月末完成予定）

(1) 地元住民との意見交換の結果

- ① 平板ブロック、タイルなどガタツキが要因となる工法は不採用
- ② 景観三色（グレー、ブラウン、ベージュ）の中で、グレーが多い結果
- ③ 色彩は、原色ではなく自然色系で、人工的な風合いは避けます

(2) 景観舗装に求められる要素

- ① 当路線は重車両の交通量が少ない路線
- ② 除雪作業による耐久性
- ③ 将来における維持補修の施工性、経費負担の考慮
- ④ 経年劣化による色褪せの変化を考慮



(3) 景観舗装の工法検討

（採用）薄層カラー舗装工（樹脂系すべり止め舗装）

道路美装化舗装構成断面

- ① 着色 自然石（庵治石）を特殊樹脂でアスファルト舗装版に接着  
自然色系の色彩、風合いで経年劣化による色褪せは無い
- ② 耐久性 車両通行による摩耗は問題なし
- ③ すべり抵抗 大きい
- ④ 維持補修 アスファルト合材で穴埋めしたところに、同じ自然石で補修が容易

【三ノ丸地区（国道7号～秋田犬会館～愛宕神社）】

1. 整備スケジュール

令和元年度	道路現況測量	(完了)
令和2年度	電柱電線類統合移設・修景（景観色） 側溝布設替え（落蓋式側溝→遮音可変側溝）	(予定)
令和3年度以降	路面舗装美装化	

2. 事業計画図

区別	移設前	仮電柱要 100%負担	移設後 景観色	本数
NTT柱	●		●	1
NTT柱(控柱)	○		○	0
電力柱	●	●	●	5
電力柱(控柱)			○	1
ケーブルテレビ	---	---	---	90m

※現在、電力柱は民地境にあり、出入りに支障とならないよう同じ箇所に建柱する必要があるため、仮電柱を建柱、配線し本柱を建柱及び再度配線した後に仮電柱を抜柱します。

① 現状写真(左:NTT柱、右:電力柱) ② 現状写真(秋田犬会館付近)  
左右対称の建柱で、車両交差に支障あり 本柱及び控柱があり、視距確保に支障あり

【上町～金坂～八幡地区（大館郵便局～桜橋館～八幡神社）】

区別	移設前	仮電柱要 100%負担	移設後 景観色	本数
NTT柱	●		●	1
NTT柱(控柱)	○		○	0
電力柱	●	●	●	5
電力柱(控柱)			○	1
ケーブルテレビ	---	---	---	90m

※現在、電力柱は民地境にあり、出入りに支障とならないよう同じ箇所に建柱する必要があるため、仮電柱を建柱、配線し本柱を建柱及び再度配線した後に仮電柱を抜柱します。



見通しが効かない  
(桜橋館前鉤型の通り)



側溝蓋無し、電柱建柱  
(遍照院前の通り)

道路美装化の実施計画に必要な平面図・縦断面・横断面の作成を委託します。  
現況測量結果に基づき、路側溝の経断や道路勾配の改善を図り、また占用物件の電柱電線類の統合修景を目指し、工事に必要な設計図書を作成します。

○大館城下町名板標柱設置計画

1. どこでも博物館（史跡標柱整備）との連携継続

- (1) 平成 28 年度から名所史跡 33 ヲ所に設置完了
- (2) カラー冊子 100 部作成
- (3) 歴史まちづくり事業で城下町名標柱を設置するため、会を存続し連携を図ります
- (4) 標柱番号は、NO. 34 から継続して記載
- (5) どこでも博物館のホームページのデザインを統一します
- (6) 説明文は 250 文字程度（翻訳も同様）、詳細文の 1,000 文字は省略します
- (7) 多言語翻訳は、英語・韓国語・中国語(簡体)・中国語(繁体)・タイ語とします

2. 令和元年 7 月末までの実績報告（平成 30 年度繰越）

標柱番号	設置実績箇所
大館城門跡(7箇所)	
NO.34	大館城大手門跡(おおもんあと)
NO.35	大館城東門跡 (ひがしもんあと)
NO.36	大館城西門跡 ((にしもんあと)
NO.37	大館城穴門跡 (あなもんあと)
NO.38	大館城搦手門跡(からめてもんあと)
NO.39	大館城中城門跡(なかじょうもんあと)
NO.40	大館城虎門跡 (とらもんあと)
歴史的建造物(4料亭/幸町地区)	
NO.41	料亭北秋倶楽部(ほくしゅうくらぶ)
NO.42	料亭末廣 (すえひろ)
NO.43	旧料亭吉野家 (よしのや)
NO.44	旧料亭濱家 (はまや)



3. 令和元年 1 2 月末までの実績報告（令和元年度事業）

標柱番号	設置実績箇所
NO.45	旧料亭多美家(たみや)
NO.46	遍照院 (へんじょういん)
NO.47	金坂の坂 (かねさかのさか)
NO.48	穴門の坂 (あなまんのさか)
NO.49	八幡町 (はちまんまち)
NO.50	金坂町 (かねさかまち)
NO.51	古川町 (ふるかわまち)
NO.52	久保町 (くぼまち)
NO.53	土手町 (どてまち)
NO.54	上町 (うわまち)
NO.55	赤館町 (あかだてまち)
NO.56	部垂町 (へだれまち)



標柱設置箇所(ホームページ掲載)  
平成 20 年撮影航空写真

4. 城下町名及び地名の説明文（事例紹介）

NO. 4 7 (金坂の坂)

台地にある金坂町を北に進むと、金坂とよばれる曲がりのある急な下り坂となります。この坂は江戸時代の絵図によく描かれています。低地に降りると西に久保町、北に進むと江戸時代の羽州街道や通町があります。通町は大館の北の出入り口で、津軽に通じていました。この坂道は当時の赤館町から扇田方面に通じる扇田街道への近道として利用されたといわれています。坂の上は北の山々や川を一望できる場所です。元禄 8 年(1695)の大飢饉に際し、翌年窮民の救済小屋が金坂の坂の低地に建てられ、粥が施されました。

NO. 5 5 (赤館町)

北側は大館城の外堀に接し、南側は扇田街道の出入口でした。武家町で給人(本藩家臣)が居住しました。通りは南北に伸び、東西に伸びる部垂町と T 字形に交わっています。町名は佐竹領最北の赤館城(現福島県棚倉町)の家臣が国替えにより居住したことに由来。北の伊達軍と敵対していた勇ましい武士団は赤館衆と呼ばれました。街道には扇田道上、扇田道下の地名があり、戊辰戦争のとき、大館軍はこの街道に陣を張り盛岡軍に対抗しました。「宝永 3 年(1706)檢地帳」では 13 軒。金毘羅大権現碑や二十三夜碑があります。現在は大館市赤館です。

5. 令和 2 年度～ 3 年度標柱設置予定箇所

設置予定箇所			
標柱番号	令和2年度	標柱番号	令和3年度
NO.57	三ノ丸の坂	NO.69	中町
NO.58	十狐町	NO.70	馬喰町
NO.59	三ノ丸	NO.71	大町
NO.60	横町	NO.72	鍛冶町
NO.61	長倉町	NO.73	足軽町
NO.62	田町	NO.74	宗福寺
NO.63	片町	NO.75	玉林寺
NO.64	裏町	NO.76	浄応寺
NO.65	風呂屋町	NO.77	蓮荘寺
NO.66	向町	NO.78	稻荷神社
NO.67	柳町	NO.79	弁天神社
NO.68	大工町	NO.80	古神明社



6. 秋田犬のロゴマーク



秋田の宝物である「子ども」と「秋田犬」が寄り添い手を取り合うことで「AKITA」の「A」を表現しています。

先に事業着手していた「どこでも博物館」とデザインの統一を図るとともに、歴史的風致の秋田犬を広く PR したいため、使用しています。





○歴史的風致形成建造物整備（重要文化財八幡神社）

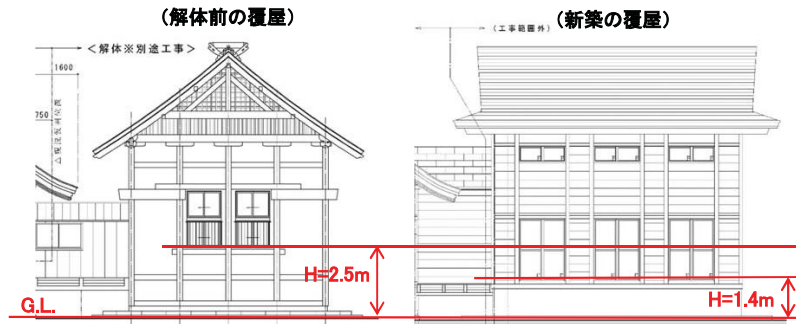
1. 整備スケジュール

年度	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
区分	文化庁	国交省	文化庁	国交省	文化庁	国交省
覆屋	現況調査・ 基本設計		実施設計		建替工事	
拝殿・幣殿			実施設計		改修工事	

2. 工事請負契約状況

工 事 名	八幡神社覆屋建替工事(文化庁)	八幡神社(拝殿・幣殿)改修工事(国交省)	
工事期間	令和元年6月4日 ~ 令和2年3月19日	令和元年9月4日 ~ 令和2年3月19日	
完 成 日	令和2年3月2日	令和2年3月2日	
工事概要	支障木伐採、本殿養生仮設 既存覆屋・幣殿解体、覆屋新築	幣殿新築、拝殿改修工事 消火水槽改修、電気・機械設備工事	
建築概要	覆屋 (108.23 m <sup>2</sup> ) 木造、平屋建て	拝殿 (27.94 m <sup>2</sup> ) 木造、平屋建て	幣殿 (28.25 m <sup>2</sup> ) 木造、平屋建て

3. 立面図（着工前・完成）



- ①開口部を低く、また大きくすることにより、外部からでも重要文化財を仰ぎ見て参拝が可能
- ②拝殿と覆屋からの落雪で幣殿屋根の堆雪が多くなり、屋根が傷むため、屋根勾配の向きを変更

4. 写真（着工前・完成）



左から拝殿・幣殿・覆屋（南側から撮影）

5. 施工状況写真



支障木伐採状況（クレーン吊）



覆屋床板切断撤去完了



本殿養生内部足場組立完了



既存覆屋解体状況



覆屋基礎コンクリート打設状況



覆屋集成材組立状況



覆屋床仕上げ



覆屋内装仕上げ



覆屋内部完成（重要文化財二社）



拝殿階段工改修完了



拝殿屋根葺き替え状況



幣殿内装仕上げ



覆屋防火シャッター設置



自動火災報知設備設置



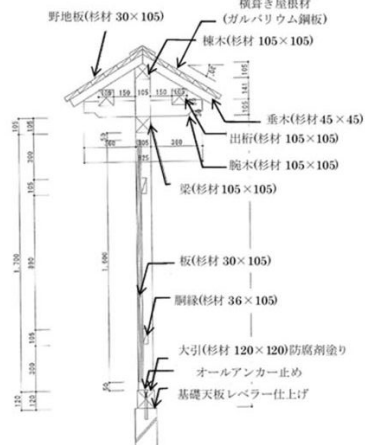
消火水槽上屋解体状況

○歴史的風致形成建造物整備（大館神明社）

1. 整備スケジュール

- (1) 平成29年度 本殿基礎補修実施設計、境内測量設計
- (2) 平成30年度 本殿盛土基礎補修工事、境内整備実施設計
- (3) 令和元年度 曳山車通路、多目的広場を兼ねた駐車場整備
- (4) 令和2年度 参道、堀、柵等の修景整備
- (5) 令和3年度 散策路の整備

2. 令和元年度本殿玉垣改修工事



(標準断面図)



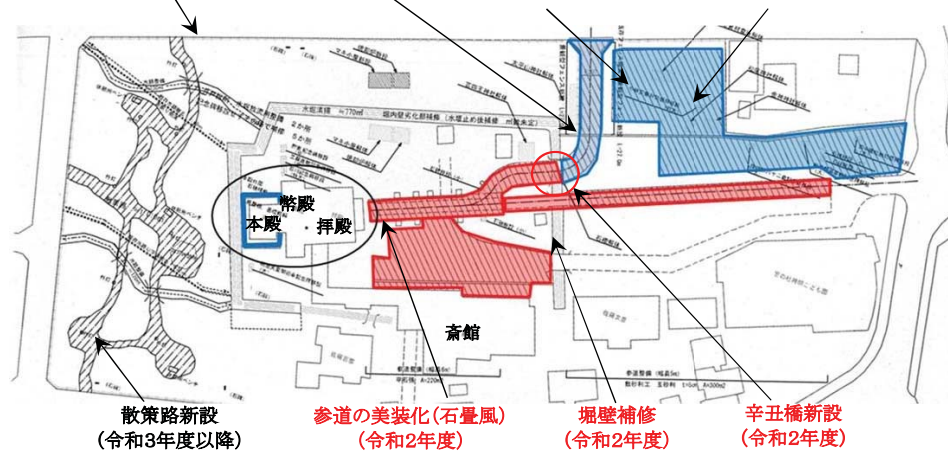
(着手前)



(完成)

3. 鎮座350年記念例祭に向けた境内整備計画図

- 景観型フェンス設置 (令和2年度)
- 曳山車参拝通路新設 (令和元年度)
- 駐車場を兼ねた広場 (令和元年度)
- 支障木伐採・石碑移設・お社解体 (令和元年度)



4. 令和元年度曳山車通路及び駐車場整備工事（施工状況写真）



支障木伐木状況



除根作業状況



枝払い(参道脇)状況



丸太搬出状況



大平山神社解体状況



功德碑移設状況(クレーン吊)



功德碑台座コンクリート



小林定修翁功德碑(移設後)



ブロック塀撤去状況



駐車場敷地(表土剥ぎ取り)



路床置換工(岩ずり)



曳山車通路(路盤工)



排水工(側溝布設)



縁石工(地先境界布設)



支障電柱(移設後)

## ○地域文化財総合活用推進事業（文化庁補助ソフト事業）

## 1. 事業趣旨

近年の人口減少や少子高齢化により、歴史的風致の大館神明社例祭奉納行事をはじめとする地域の文化遺産の次世代への継承が危ぶまれています。

この課題解決のため、大館市歴史的風致維持向上計画に基づき、地域の文化遺産の継承、後継者の育成及び文化遺産を活用した地域活性化を図ります。

## 2. 事業期間 平成30年度～令和4年度（5年間）

## 3. 事業主体 文化遺産活用まちづくり実行委員会

- 大館郷土芸能保存会
- 大館・北秋田建築士会
- 大館ばやし保存会
- 大館神明社例祭余興奉納実行委員会

## 4. 平成30年度活動実績、令和元年度活動報告、令和2年度活動計画

	活動事業名 (事業区分)	平成30年度 (活動実績)	令和元年度 (活動報告)	令和2年度 (活動計画)
①	文化遺産ホームページ作成 (情報発信)	概要版作成	英語版ホームページ 動画撮影・編集	中国語版ホームページ 動画撮影・編集
②	文化遺産パンフレット作成 (情報発信)	日本語版作成	リーフレット等作成 (英語・中国語)	
③	ヘリテージマネージャー育成 (人材育成)	養成講座13回開催 26人資格修得	ステップアップ講座 シンポジウム開催	ステップアップ講座継続
④	秋田祭囃子シンポジウム開催 (普及啓発)	祭囃子シンポジウム 開催	祭語り講演会開催	講演会等継続開催
⑤	大館囃子教則映像記録 (記録作成)	映像記録・編集		
⑥	大館囃子講習会開催 (後継者養成)	講習会9回開催 370人参加	講習会9回開催 422人参加	講習会継続開催

※ヘリテージマネージャーは、建築の専門家(建築士等)で、歴史文化遺産の保全活用の手法を修得した者



大館囃子教則映像 DVD 作成  
(令和元年7月23日市内小中学校に配布)



文化遺産ホームページ動画作成(年度末完成)  
大館神明社例祭余興奉納行事  
(令和元年9月10日・11日)

## ○歴史的建造物調査報告書作成委託（市単独事業）

## 1. 事業趣旨

平成30年度にヘリテージマネージャー養成講座にて、知識を修得した会員から構成する団体から、歴史的建造物の保全活用や、まちなみ景観等についてご助言をいただきながら、歴史まちづくり事業の推進に向け一緒に取り組んでいきます。

## 2. 事業期間 令和元年度～令和4年度（4年間）

3. 事業主体 大館歴史的建造物研究会  
(令和元年7月1日設立)

## 4. 活動計画

## (1) 歴史的建造物調査報告書作成

歴史的風致形成建造物指定候補の料亭について、建造物の調査を行い、価値を検証した報告書の提供により、指定の根拠として活用が可能となります。

## (2) 歴史的建造物地域別調査

重点区域外にある歴史的建造物の調査した資料について、ガイドブック作成時に活用が可能となります。

## (3) 歴史的建造物保存調査・提案

地域にある神社について、調査を行い、必要に応じて補修計画等の提案が可能となります。



ヘリテージマネージャー養成講座  
(平成30年度)



養成講座実施報告書  
(平成30年度)



比内地域の歴史的建造物調査状況  
(令和元年10月26～27日)



高山豊年稲荷神社の補修提案調査  
(令和元年11月23日)

# 大館市歴史まちづくり フォトコンテスト審査結果

大館市歴史的風致維持向上協議会委員の皆様に審査いただいた結果  
をご報告します。

・テーマ あなたの心に残る建造物

・応募総数 46点

◎大館歴まち大賞 10. 枝垂桜満開 <浄応寺>

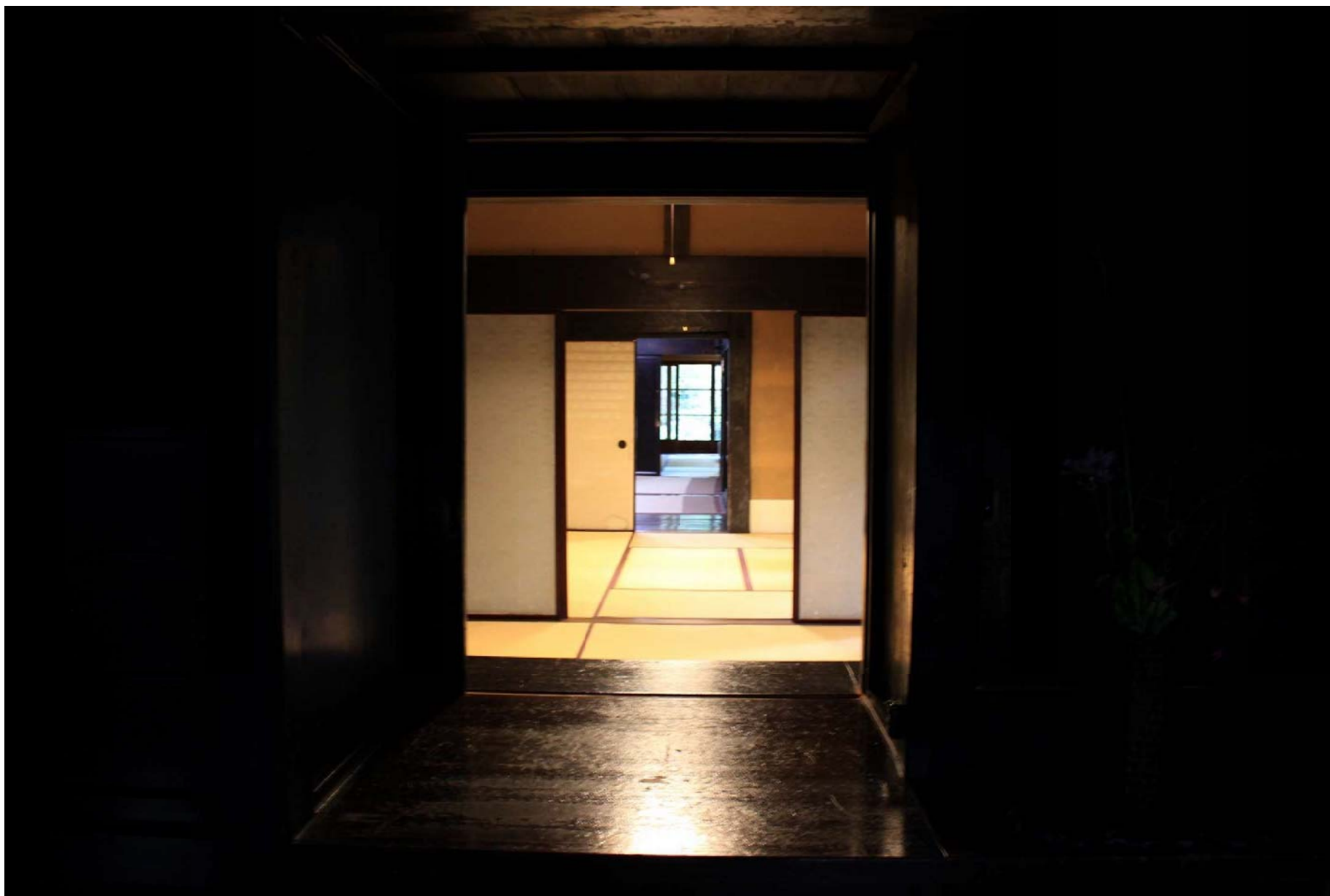
○大館歴まち賞 29. 紅葉の高山稲荷神社 <高山豊年稲荷神社>  
37. 通しの間 <鳥潟会館>



大館歴まち大賞 10. 枝垂桜満開 <浄応寺>



大館歴まち賞 29. 紅葉の高山稲荷神社 <高山豊年稲荷神社>



大館歴まち賞 37. 通しの間 <鳥潟会館>